

平成28年度小中一貫教育推進計画

須賀川市立稲田小中学校

1 目指す子ども像

◎ 豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい稲田学園生

2 小中一貫教育テーマと趣旨

(1) テーマ：自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、

主体的に取り組む児童生徒の育成 ～キャリア教育を核として～

(2) 趣 旨：児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望を持たせ、「学ぶこと」「働くこと」「生きること」を考えさせ、社会的自立を目指すキャリア教育に小・中学校が一貫して取り組み、稲田小中の教育目標である人間力の育成を図る。

3 方 針

義務教育9年間の一貫性のある教育活動を通して、一人ひとりの個性や能力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を培い、生き抜く力を身につけたたくましい児童生徒を育成するために、「できることから始めよう」を合言葉に平成28年度の小中一貫教育を推進する。

4 推進体制

(1) 推進組織



(2) 組織の内容

①【稲田小中一貫教育運営部会】

- 小中一貫教育連絡協議会での原案の立案

②【小中一貫教育連絡協議会】

- 小中一貫教育推進計画またはその変更の案の作成
- 小中一貫教育推進計画に定める措置の実施

③【各部会】

- 9年間を見通した指導計画等の作成
- 情報交換・連絡調整

④【小中一貫教育推進委員会】

- 小中一貫教育推進計画に定める措置の実施・検討

⑤【稲田小中学校一貫教育地域運営協議会】

- 稲田小中一貫教育のあり方についての協議・各校長への答申

6 推進計画

(1) 中長期計画

推 進 内 容	26年	27年	28年	29年	30年
学校管理・運営面					
①小中一貫教育ランドデザイン	検討	完成	実施		
②教育目標・重点目標	検討	→	→	完成	実施
③校務運営組織（校務分掌）		検討	完成	試行	実施
④日課表（清掃の時間等）		検討	完成	試行	実施
⑤PTA組織の再編	検討	→	完成	試行	実施
⑥学校評議員会 ※2学期に合同で開催	一部	実施			
⑦合同職員会議・職員打合せ		検討	完成	試行	実施
⑧教育計画全般		検討	完成	試行	実施
教育課程・学習面					
①9年間を見通した教育課程（スタンダードカリキュラムを活用した稲田モデル）	検討	→	完成	試行	実施
②学力向上プラン	検討	→	完成	試行	実施
③中学校教員による小学校での授業	検討	一部実施	完成	試行	実施
④小学校教員による中学校での授業（T・T）		検討	完成	試行	実施
⑤小中合同集会活動	検討	実施			
⑥小中合同部活動（陸上）		検討	試行	→	実施
⑦検定試験 ※漢字能力検定は既に実施	一部実施	→	実施		
部会関係					
①行事部会	各部会の計画により 検討・試行を行う。				実施
②生徒指導部会					実施
③現職教育部会					実施
④特別支援部会					実施
⑤養護部会					実施
⑥事務部会					実施

委員会関係					
①校歌・校章・制服検討委員会	検討	→	→	→	実施
②学校要覧検討委員会			検討	完成	実施
③児童会・生徒会編成委員会		検討	→	完成	実施

(2) 短期計画

活 動 (内 容)	活動のねらい	対象学年等	期 日
中学校教員による 乗り入れ授業	○ 中学校の教員が小学校高学年において専門教科を担当することで、より専門性の高い、分かりやすい授業を行い、学力を向上させる。	5・6年	通 年
縦割り活動 ・集会活動 ・ボランティア活動	○ 年間を通して共に活動する縦割り班を編成し、集会活動や地域美化活動を行うことにより、思いやりや協力・助け合いの心を育む。	全学年	4 月 9 月 1 2月
総合的な学習の時間 発表会 (キャリア教育)	○ 中学生が職場体験の発表をすることによって学習のまとめをすると共に、小学生は、今後の学習に役立てる。	中3年・6年 中2年・5年 中1年・4年	7 月 9 月 9 月
合同文化祭	○ 中学校の文化祭で小学生の学習の成果を発表することによって、表現力を高めると共に、さらなる学習への意欲づけを図る。	全学年	1 0月
中学校部活動体験	○ 6年生の部活動体験を通して、中学生には先輩としての自覚を促し、小学生には中学校入学への自覚と目標を持たせる。	中学生 6年	1 0月 3月
合同漢字能力検定	○ 希望者を対象に年3回の漢字能力検定を受けさせることにより、漢字に興味を持たせると共に、語彙力・国語力を身につけさせる。	全学年希望者	7 月 1 0月 2 月
合同数学検定	○ 希望者を対象に年2回の算数・数学検定を受けさせることにより、算数・数学に興味を持たせると共に、それらの実用的な技能を身につけさせる。	全学年希望者	1 1月 2 月
合同英語検定	○ 希望者を対象に年3回の英語検定を受けさせることにより、英語や異文化への興味・関心を広げ、英語でコミュニケーションすることへの親しみや楽しさを味わわせたり、英語を話す・聞く・書く・読む力を高めたりする。	全学年希望者	6 月 1 0月 1 月
授業参観・ 授業研究会	○ 相互の授業参観・授業研究会を通して、学習状況の実態を把握し、指導改善の手立てとする。	全学年	6 月 1 1月

ノーメディアデー の実施	○ ノーメディアデー（「家族の日」1学期1回 2・3学期各2回）を実施することにより、生活習慣の改善を図り、学習習慣を育成する。	全学年 保護者	通 年
学びの習慣づくり の実施	○ 9年間を通した「家庭学習の手引き」を活用することによって、学習習慣を育成する。	全学年	通 年
「家庭教育10の誓い」の発行	○ 定期的に保護者啓発通信を発行し、家庭の教育力向上を図り、子どもたちの健やかな成長を促す。	保護者	通 年 7月発行
合同生徒指導委員会 （生徒指導部会）	○ 小中の情報交換を通して共通の課題を確認し、今後の生徒指導の指針を協議する。	校長・教頭・ 教務・生徒指 導主事	5 月 1 1月
合同学校保健委員会	○ 小中の情報交換を通して共通の課題を確認し、今後の保健指導の指針を協議する。	校長・教頭・ 保健主事・ 養護教諭	9 月
合同特別支援委員会 （特別支援部会）	○ 小中の情報交換を通して共通の課題を確認し、今後の特別支援の指針を協議する。	校長・教頭・ 特別支援担当 者	5 月 1 1月
合同学校評議員会	○ 評議員会を合同で行うことにより、共通の課題を確認し、今後の学校運営に生かす。	校長・教頭・ 学校評議員	1 2月
稲田小中学校一貫教育 地域運営協議会	○ 地域の方々と小中一貫教育をどのように進めていくかを小中一貫教育推進ブランドデザインを基に話し合い、よりよい一体型の一貫教育を進めることができるようにする。	校長・教頭・ PTA 会長・稲 田地域区長会 代表・学校評 議員	1 2月
キャリア教育 指導計画の作成	○ 9年間を通した系統的なキャリア教育の指導計画を作成し、活用することにより、自己のよさを見つけ、伸ばし、キャリア発達を促す。	全職員	通 年
稲田小中学校人材バ ンク事業	○ 地域の方々に学習等のサポートをしていただき、教育効果をさらに向上させる。地域の方々と触れ合う中で、子どもたちのキャリア発達を促す。	全学年	通 年

7 先進校視察計画

- 須賀川市の目指す小中一貫校と方向性を一にする先進校の実践を視察し、小中一貫教育への取り組みのさらなる推進・充実を図る。

8 一貫教育推進会議日程

○ 連絡協議会

第1回 平成28年 4月 4日 (月)

第2回 平成28年 8月24日 (水)

第3回 平成28年12月19日 (月)

○ 各部会

平成28年 4月 4日 (月) 全部会

平成28年 4月11日 (月) 行事部

平成28年 5月 6日 (金) 生徒指導部 養護部 特別支援部

平成28年 5月13日 (金) 現職部 事務部

平成28年 9月21日 (水) 行事部

平成28年 8月24日 (水) 全部会

平成28年11月11日 (金) 養護部 現職部 特別支援部 事務部

平成28年11月25日 (金) 行事部 生徒指導部

- 地域運営協議会 平成28年12月13日 (火)